



雨が続く季節になりました。梅雨が明けると今度は暑い夏がやってきます。
多くの会社や学校ではまとまった休みが取れる時期なので、旅行やスポーツ、イベントを行うには良い季節です。工夫をしながら楽しく過ごしましょう。
とはいえ、今しばらくは外でもマスクをする必要があるようです。
体調を崩さないように、熱中症対策やバランスのとれた食事と休養を心がけて、楽しい思い出ができる夏にしたいですね。



安芸津病院は地域の人々の健康と暮らしを守ることを理念としており、めざす姿は地域の皆様が当院で治療を完結できることです。しかし、当院は小規模病院で医師の数も限られておりすべての疾患には対応できないのが実情です。当院外科も消化器外科が専門で、その他の一般外科の診療も行っていますが、専門性が必要な場合は大病院への橋渡しを迅速に行うことも使命と考えています。とりあえず外科のことは何でも相談して頂ければと思います。



当院外科は本年度より3人から2人体制となりましたが、乳腺疾患に関しては大学より乳腺専門医の派遣を受け毎週金曜日の午後より乳腺専門外来を設けました。また、手術に関しては他病院からの援助を受け3人体制を維持しています。

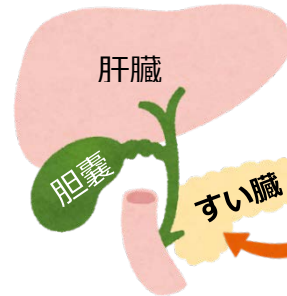
当院では大病院ほど手術件数が多い分手術待ちの期間は短く、さらに一人一人の患者様により綿密にケアができるのがメリットと考えています。しかも退院後に何かあったときは近くにかかりつけ病院があるのが一番です。また通院が大変になれば訪問診療、訪問看護も利用できます。

一言でいえば皆様にとって小回りが利くということです。色々な事情で他院で手術、治療を受けたものの通院が大変になったり、病状が進行し緩和医療が必要となり地元に戻りたいというような患者様も転院は可能です。いつでもご相談ください。



安芸津病院 副院長（兼）外科主任部長 高島 郁博

急性すい炎について



皆さんは「急性すい炎」という病気をお聞きになられたことがありますか？
すい臓とは胃の裏側にある長さ 15cm ほどの細長い内臓で、「食べた物を消化する液をつくる」、「血糖値をコントロールする」が主な働きですが、この消化液によってすい臓自体が消化されてしまうのがすい炎と呼ばれる病気です（すい炎には急性すい炎と慢性すい炎がありますが、今回は急性すい炎についてお話します）。

急性すい炎の原因として多いのはアルコール、胆石ですが、原因不明の急性すい炎もあります。アルコールはすい臓を傷つけるため、胆石はすい臓の消化液が出る場所をふさいで、消化液の交通渋滞を起こすことが理由です。



急性すい炎の症状として、みぞおちから背中にかけての痛みが多く挙げられます。そのような訴えのある患者さんに対して血液検査、画像検査（腹部超音波検査、腹部CT検査）を行い、アミラーゼという項目が増加して、すい臓の腫れを認めれば急性すい炎と診断して治療を行います。

急性すい炎の治療は、すい臓を刺激しないように食事水分も中止してたくさんの点滴を投与します。治療を開始して数日間ではほとんどの患者さんは改善しますが、ごくまれに重症化する場合があり、亡くられる患者さんもうらっしゃいます。

先述したように急性すい炎の原因としてアルコール、胆石などが挙げられることから、普段の生活習慣の改善を心掛けることが重要です。また、ごくまれに初期のすい癌が原因で急性すい炎が生じることもあります。

ご心配なことはお気軽にご相談ください。

一般内科 部長 飯星 知博

コロナ禍での認知症対応

新型コロナウイルスの猛威の影響を受け、当院でも入院患者さんとの面会を制限している状況が続いています。多く聞かれるのが、認知症患者さんへの影響です。認知症は中心となる症状に、記憶障害や身の回りの生活が困難になるといった症状があります。長期間面会できないことで家族のことを忘れてしまうのではないかと、認知症が進んでしまうのではないかと、寝たきりになるのではといった不安をご家族の方は感じています。また、施設や通所サービスも以前のように利用できない状況が続いており、介護負担につながるケースも増えています。

この状況を改善するため、様々な取組も始まっています。当院では、スマートフォンなどを用いたビデオ通話を実施しています。また、メールでのやりとりでも、患者さんの笑顔が増えてきたと実感できました。今年の認知症ケア学会でも、コロナ禍での様々な取組が発表されています。オンラインでの面会や無料動画で好きな映像を見たり、手紙のやりとりを実施している所もありました。

このように認知症患者さんに対応することで、精神的な安定を促すことや認知機能の低下予防、環境変化により生じる混乱の予防・軽減をすることができます。そのために重要なのは、認知症患者さんが「何を大切にしているか」「どんなことが好きだったか」という生活史をとらえることです。日頃から家族と「自分はこれが好き」という話題を持つことをお勧めします。



4 階病棟 認知症看護認定看護師 小早川 由佳

禁煙しませんか？

「タバコはいつかやめなければ・・・」と思いながらも、なかなか踏み出せていない方は少なくないと思います。では、なぜタバコをやめられないのでしょうか？ 実は、ニコチンのもつ依存性が原因なのです。ニコチン依存症は、麻薬と同じぐらいやめるのが難しく、治療を必要とする病気です。禁煙が難しいのは、ニコチン依存症によるもので、自分の意志の力だけで達成できないのも当然といえます。

..... 肩関節周囲炎（五十肩）について



リハビリテーション科 新原 諒

..... ウイルスに負けない体づくりのための栄養

A cartoon illustration of a female chef with brown hair, wearing a white chef's hat and a white lab coat over a red skirt. She is pointing her right index finger towards a circular food pyramid diagram. The diagram is divided into six colored segments, each containing an icon representing a food group: a blue fish (protein), a yellow bowl of rice (grains), a green leafy vegetable (vegetables), a red tomato (vegetables), a purple eggplant (vegetables), and a yellow corn cob (grains). The background is white with a faint grid pattern.

栄養室 管理栄養士 田中 美樹

..... ～ 動脈硬化を調べる検査 ～



臨床検査科 中本 里美

 編集後記

副院長（兼）看護部長 岡 賢美